



当市ホームページの市議会情報ページへアクセスできます。



高峯の山桜(平沢地区)

### 平成30年度 一般会計予算 189億5,000万円

- 平成30年度 予算可決…②
- 予算に関する大綱質疑…④
- 議案審議…④
- 一般質問…⑥
- 委員会報告…⑧
- 私のメッセージ…⑩

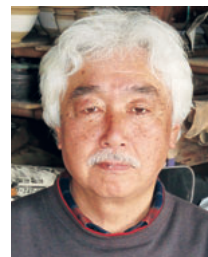


## さくらがわ市議会だより 51号

2018年(平成30年)5月1日発行

発行：桜川市議会 編集：桜川市議会広報特別委員会  
〒309-1292 茨城県桜川市庄内64番地2  
http://www.city.sakuragawa.ig.jp E-mail: gkcal\_s@city.sakuragawa.ig.jp  
TEL 0296-7513111  
FAX 0296-756633

## 私のメッセージ



佐藤 武志さん  
桜川市真壁町酒寄

### 未来に希望の持てる 郷土づくりを！

どこかの国の話です。いつのころからか、その国の借金はふえ始め、今までは1000兆円以上。赤ちゃんからお年寄りまで、1人800万円以上の借金をしていることになりました。なぜそうなったのでしょうか。理由は色々あるようですが、1つには、その国の予算の使い道を考える人たちが、借金をつくってもそれを返す方法は、これからの人が考えてくれるだろうと、責任を子や孫に先送りして、自分たちは使うことだけ考えているからではないでしょうか。

同じような話をもう1つ。これは、その国の原子力発電の話です。原子力発電は、ほかの発電と比べて何が一番違うかというと、発電によって生まれる「ゴミ」です。「高レベル放射性廃棄物」と言います。この「ゴミ」ができてすぐのころは、人が近づくと十数秒で死んでしまう強い放射線を出します。それは、時間が経つと弱まってくるのですが、周りへの影響が少なくなるまでには、数万年かかると言われています。こんな「ゴミ」が生まれると解っていた

のに、電力会社はなぜ原発をつくったのでしょうか。会社の言い分はいろいろあるでしょうが、これもまた、問題の解決を子や孫に先送りして今の会社の利益を優先した結果と言われてもしかたないでしょう。

さて、我が日本は：そんな無責任な国ではありませんよ。少なくとも桜川市の市長、市議会議員の皆様にはこれからも先、子や孫に後始末をさせない、未来に希望の持てる郷土づくりをしていただきたいと思えます。

### 編集後記

国難というのに、この1年の国会は「モリトモ」に明け暮れた感がある。日本を取り巻く東アジア情勢は再び転換期を迎え、私たちは、自国の防衛に正面から向き合わざるをえない。また少子化は国を衰退させ、各分野でリーダーとなる人材が不足する。優秀な国民が財産の日本だが、国民の生命財産を守る立場の、国会の議論のお粗末さは、なんとも頼りない。

聞けば、まちおこし見学に来たという。「地方の現実をよく見て行ってね」と声をかけた後、つい力が入ってしまった。「あなた方は将来の日本を背負う人たちでしょ。ITや金融に就職する人がふえているらしいけど、ぜひ、官僚や政治家を目指してください。」

私たち市議会議員は、国民に一番近い所にいる。その生の声を力に、微力ながら時代の変化に挑んでいきたい。



林 悦子

### 議会広報特別委員会

委員長 菊池 伸浩 副委員長 谷田部由則  
委員 林 悦子 委員 小高 友徳  
委員 市村 香 委員 大山 和則  
発行責任者 議長 高田 重雄

次の定例会は

**6月12日(火)**  
10時開会予定です。  
みなさまの傍聴をお待ちしています

### 議会日誌

- 2月**
- 20日 議会全員協議会
  - 21日 文教厚生常任委員会
  - 23日 総務常任委員会・建設経済常任委員会
  - 28日 議会運営委員会・議会全員協議会
- 3月**
- 6～16日 第1回定例会
  - 8日 議会広報特別委員会
  - 9日 議会運営委員会・議会全員協議会
  - 12日 3合同常任委員会
- 4月**
- 18日 議会広報特別委員会
  - 23日 議会広報特別委員会